

**NEW ポジティブメンタルヘルスとワーク・エンゲージメント****労働と休養の好循環を**

**全国労働衛生週間**が 10 月 1 日から 7 日まで実施されました。会員組織の皆さんの職場では、日頃より自主的な活動としての健康確保の取り組みは行われているでしょうか。特に、労働災害の申請・認定とも精神疾患によるものが深刻な問題となっていることから、職場のメンタルヘルス対策は、メンタル不調の未然防止だけではなく、元気な人も含めて心身ともに健康で、かつ、仕事にやりがいを感じながら働き続け、生産性の向上につなげる「**ポジティブメンタルヘルス**」が求められています。

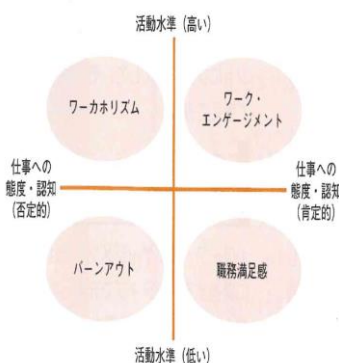


図1 労働者の仕事に対する心理状態に関する概念  
(島津明人著「ワーク・エンゲージメント ポジティブ・メンタルヘルスで活力ある毎日」を参考に著者作成)

職場のメンタルヘルス対策は、メンタル不調の未然防止だけではなく、元気な人も含めて心身ともに健康で、かつ、仕事にやりがいを感じながら働き続け、生産性の向上につなげる「**ポジティブメンタルヘルス**」が求められています。

**ワーク・エンゲージメント**とは、仕事に関連する充実した心理状態として、「活力」「熱意」「没頭」の3つがそろった「活動水準が高い状態」と言われています。

対して、「ワーカホリズム」「バーンアウト」などの言葉があり、研究では「日本人は自己批判のバイアスが強く、欧米人は自己高揚バイアスが高い」との傾向があり、日本人はワーク・エンゲージメントが低いとされています。

ワーク・エンゲージメントの推進は、メンタルヘルス対策の在り方を大きく変えるとも言われ、離職予防の観点からも経営者・人事管理者だけではなく労働組合は、企業の経営理念・従業員が働く上で大切にしている価値観・職場環境などに積極的に関心をもって労働安全衛生に取り組むことが求められています。特に、活力を蓄えて次に備える「攻めの休養・リカバリー」についてもっと多くの人が認知し、組織的に推進することで「活動⇒疲労⇒休養⇒活力」をうまく回転させていくことがいくことが必要です。「**24 時間戦えますか**」というキャッチコピーが昔ありましたが、「休養」という考え方が抜けたものであり、そんな「モーレツ社員」がお手本だった時代もありました…。

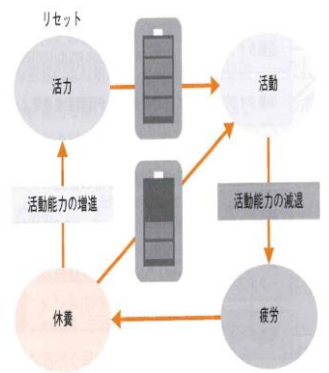


図1 攻めの休養サイクル

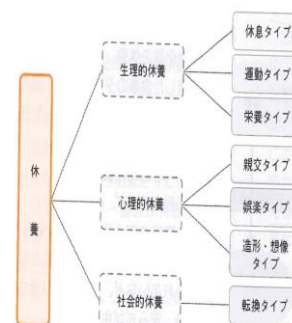


図2 休養モデル (杉田・片野モデル)

**NEW カスタマーハラスメント対策 DVD 「企業編」について！**

【企業に求められるカスタマーハラスメント対策編】の紹介  
パソコン修理の予約客が窓口で電話予約時の返答と違う回答をされたため、「キレるスイッチ」が入ってしまった。DVD では、なぜ「キレた」のか、使うべき・言うべきではない言葉、応援を呼ぶ合言葉、別室での対応方法、ネット投稿への対抗手段など実践的な対策がまとめられています。 →のポスターも登場しています。

**安全衛生センターの教育 DVD(レンタル料無料)**



**北海道安全衛生センター所有 DVD 一覧(PDF) 更新しました**

申込は [safety@rengo-hokkaido.gr.jp](mailto:safety@rengo-hokkaido.gr.jp)

企業・団体での研修会講師の依頼・相談も当センターへ

## NEW「年代別のハラスメント研修」が札幌トヨペットで開催されました

10月3日、札幌トヨペット本社会議室において、アンビシャスグループ北海道で働く35歳・36歳を対象にした「ライフプランセミナー」が開催され、当センターの齊藤勉特別講師が「職場のハラスメント(カスハラを含む)」、「アサーショントレーニング」、「こころとからだ」について講演しました。初企画ということで、人事グループの担当者と3回・4時間の打ち合わせを実施した上での開催となりました。コミュニケーション能力を高めるためのロールプレイを多く取り入れた研修内容で、参加者全員が笑顔いっぱいを受講していただきました。10月9日は40歳代、10月16日には50歳代の年齢別セミナーも2回実施予定です。

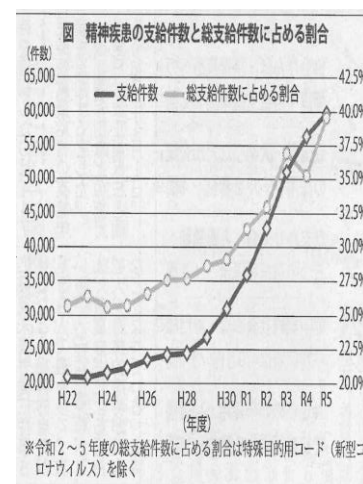
「令和のZ世代」という言葉があります。義務教育から高校、専門学校・大学の卒業まで保護者や先生などから厳しい物言いをされていない可能性があります。管理者は自身の育てられた環境や状況を理解した上で、社員等の世代に寄り添った研修のあり方を考える必要があるのではないのでしょうか。



## NEW「23年度協会けんぽ傷病手当金」精神疾患の増加が続く コロナ除くと4割 労働新聞【9/23】

前回号で23年度の労災補償状況における、精神疾患による認定が833件にもなり、前年度から173件増えて5年連続で最多を更新していることをお伝えしました。全国健康保険協会(協会けんぽ)は、23年度の傷病手当金の給付状況について公表し、精神疾患の支給件数は6万件で、新型コロナウイルスを除いた総支給件数に占める割合が4割になったとしています。総支給件数は17万件、22年度からは14.1万件減と新型コロナの支給件数減が影響しているとしています。

精神疾患の支給件数の推移は、右肩上がりとなっており、特に「令和」に入ってから増加幅は大きく、直近5年間では倍増している状況にもなっています。さらに、疾病別での平均支給期間では精神疾患が218日、ガンは193日、循環器系疾患が195日となっています。



【傷病手当金】は、病気休業中に被保険者とその家族の生活を保障するために設けられた制度で、病気やけがのために会社を休み、事業主から十分な報酬が受けられない場合に支給されます。なお、任意継続被保険者の方は、傷病手当金は支給されません。(健康保険法第104条による継続給付の要件を満たしている者は除く。) 傷病手当金が受けられるのは、被保険者が病気やけがのために働くことができず、会社を休んだ日が連続して3日間あったうえで、4日目以降、休んだ日に対して支給されます。ただし、休んだ期間について事業主から傷病手当金の額より多い報酬額の支給を受けた場合には、傷病手当金は支給されません。

## NEW「日本バス協会」暴力行為は毅然と対応 業界全体の姿勢をしめす基本方針

日本バス協会は、カスタマーハラスメントによる人材の離職や休職を防ぐため業界全体の姿勢をしめす基本方針を打ち出し、企業向けの対応マニュアルを作成しました。方針では、暴力など従業員を傷つける行為に対し

て、毅然とした態度で対応することなどを盛り込んだとしています。実際の被害を紹介するポスターも作成し、方針と共に乗客への周知も図るとしています。マニュアルでは、乗客が精算機にかざした交通系 IC カードにエラーが発生したため、もう一度かざすことを求めたところ怒った乗客から暴力を受けたことも紹介しています。

#### 再要請

### 「北海道カスタマーハラスメント防止条例(仮称)に関する意見の募集について

#### 意見等の募集期間

2024 年9月19日(木)から10月18日(金)まで

当センターとして会員の皆さんはじ多くの方にパブリックコメントにとりくみ、多くの働く人の声を集めていただきたいことから、ご協力お願いいたします。

**当センターホームページもご覧ください。**

- 北海道議会ホームページにアクセスし、記載してある要領で意見を提出してください。

北海道議会 <https://www.gikai.pref.hokkaido.lg.jp/>

注目情報 → 「カスタマーハラスメント防止条例(仮称)」に対する道民意見の募集

<https://www.gikai.pref.hokkaido.lg.jp/gaiyou/201075.html> または、

QRコードはこちら⇒



あるいは、直接こちらのアドレスにご意見を [gikai.seisaku2@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:gikai.seisaku2@pref.hokkaido.lg.jp)

- 中 | 災 | 防 | 技 | 術 | 支 | 援 | 部 | 情 | 報 |

令和 6 年度の研修・セミナーの開催日程もホームページに掲載しています。

詳しくは、各研修等のページをどうぞご確認ください。

<https://www.jisha.or.jp/seminar/oshms/index.html>

<安全衛生団体>

- 中央労働災害防止協会 <http://www.jisha.or.jp/>

- 厚生労働省ホームページ [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_40277.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_40277.html) に掲載。

- 北海道安全衛生サービスセンター <http://www.jisha.or.jp/hokkaido/>

- 安全衛生情報センター <http://www.jaish.gr.jp/index.html>

- 労働科学研究所 <http://www.isl.or.jp/>

- 労働者健康安全機構 <https://www.johas.go.jp/>

- 労働安全衛生総合研究所 <https://www.jniosh.johas.go.jp/>

- 北海道産業保健総合支援センター（産保センター） <http://www.hokkaidos.johas.go.jp/>

- 職場のあんぜんサイト (mhlw.go.jp)

- 労働調査会 <https://www.chosakai.co.jp/>

- 日本産業カウンセラー協会北海道支部

一般社団法人日本産業カウンセラー協会北海道支部 ([counselor.or.jp](http://counselor.or.jp))

【必見】「2024 年度 働く人の悩み相談室」開設中！しております。詳しくは[こちら](#)から お申込み・お問い合わせは下記までご連絡下さい。▼ご予約は電話：011-209-7000(平日 9 時～17 時 ※土日祝日はお休み) メール：[sapporo@counselor.or.jp](mailto:sapporo@counselor.or.jp)(当日をご希望の方はお電話での受付になります。)

○ 個人の方へ | カウンセリングのご相談 | 一般社団法人日本産業カウンセラー協会 北海道支部  
([counselor.or.jp](http://counselor.or.jp))

○ 日本産業カウンセラー協会 <http://www.counselor.or.jp/>

## <行政>

■ 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>

■ 厚生労働省 北海道労働局 <https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/>

■ 北海道 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/>

■ こころの耳 (メンタル専用サイト) <http://kokoro.mhlw.go.jp/>

「事例紹介」に検索機能を追加しました。

[こころの耳 Q&A](#) | [こころの耳:働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト \(mhlw.go.jp\)](#)

■ パワハラポータルサイト「明るい職場応援団」 <https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/>

■ アスベスト情報 <http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/sekimen/index.html>

■ 独法 労働政策研究・研修機構 (JIL) <https://www.jil.go.jp/>

■ いじめ・メンタルヘルス労働者支援センター (IMC) <http://ijimemental.web.fc2.com/index.html>

## <おすすめHP>

- [ガン情報](#) [がん対策情報センターについて](#)
- [がんと仕事のQ & A](#)
- 過労死防止学会 <http://www.jskr.net/>
- 全国過労死を考える家族の会 <http://karoshi-kazoku.net/>
- 日本アドラー心理学会 <http://adler.cside.ne.jp/index.html>

〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル 5F

事務局長理事 木下真一 TEL 011-272-8855 [safety@rengo-hokkaido.gr.jp](mailto:safety@rengo-hokkaido.gr.jp)